

# 曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

## 音を楽しもう！



10月30日、末吉中学校体育館でメセナ楽団主催の「自由演奏会 in そお 2011」が開催されました。

この演奏会は、音楽と楽器が好きな方なら年齢、経験など関係なく参加できる全国各地で開催されているコンサートです。

曾於市では8回目の開催となり、70人が参加。市内小中学生や遠くは神奈川県・長崎県・福岡県の遠方から、また小学3年生から70代の方までの幅広い年齢層で参加がありました。

参加者は当日初めて顔を合わせ、上野の森ブラスのチューバ奏者の杉山淳先生の指導の下、熱心に練習して本番に臨み、みんなで演奏する楽しさを実感していました。

## 「第1回曾於市がねコンテスト」を開催



10月9日（日）、曾於市観光特産開発センターは、「きらら館」で「曾於市がねコンテスト」を開催しました。

「がねコンテスト」は、昨年、霧島連山が日本ジオパークに認定された記念イベントとして企画されたもので、今回、10チームが参加し腕を競いました。

当日は、柚子、ショウガ、ちりめんじゃこ、ごぼう、豆腐、レンコンなどを加えたユニークながねが並び、多くのお客様が試食や買物を楽しんでいました。

投票の結果、優勝「あさがお」、準優勝「財部シルバー」、第3位「兒玉」チームで、上位2チームが11月20日、「滝の駅せきのお」で開催されたG1グランプリ大会に出場しました。



## ゆずの収穫・加工体験を実施

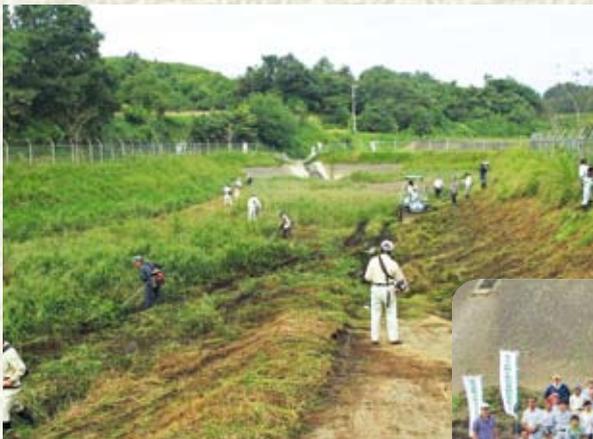


曾於市観光特産開発センターは、曾於市が九州一の柚子の産地であることから、柚子の素晴らしさを知って頂くために「ゆずの収穫・加工体験」を10月30日、11月5日・6日の3回行いました。

内容は西留さんの畑で収穫体験、柚子搾汁センターで工場見学、柚子の料理体験と生産から加工までを幅広く勉強しました。また、柚子にはビタミンC、ペクチン、クエン酸などが豊富に含まれており、免疫力強化、整腸作用、老化防止、シミ・ソバカス防止など体に良いことも学び、参加者は柚子の凄さにビックリしていました。



## ボランティアで草払い



10月1日、大隅建設協同組合・県土改連・曾於地区測量設計業協議会・県職員・市職員・大隅南地域環境保全協議会の皆さん約120名が、ボランティアで大隅南地区調整池の草払いを行いました。

この施設は、地域の排水対策として平成20年度まで5年をかけて県営シラス対策事業で整備されたものです。

当日は、早朝6時30分から草刈機や重機で作業が行われると、約2時間後はすっきりきれいになり、環境保全協議会会長の竹元さんから

「毎年のご協力に感謝いたします。これからもみんなの財産として大切に管理していきます。」とお礼のことばがありました。



## LPガス等の供給に関する協定書調印式



10月25日、市長室で災害時における応急生活物資LPガス等の供給に関する協定書調印式がありました。

今回の協定は、曾於市に災害が発生し又は発生するおそれがある時は、避難所に鹿児島県LPガス協会曾於市支部よりLPガス、容器及び燃焼器具等の供給をしていただくというものです。これにより、いち早く避難所での炊き出し等が可能となり、避難者への温かい食事等の提供が可能になります。

市長は、「東日本大震災の報道を見て、いち早く被災者に温かいお茶や食べ物を供給する事が大切であり、この協定の重要性を改めて感じました。遭っては欲しくない事ですが、いざというときの為に官民一体となり、備えは十分していきたいと思っております。」と述べました。

## 夢実現には 良く聞き 準備し 工夫する



10月11日、財部小学校に世界陸上に出場された荒川大輔さんが訪問し、6年生の児童に講演と実技指導を行いました。

荒川さんは、100mや200mの選手でもありましたが、特に得意な種目は、走り幅跳びで、2008年には8m09(日本歴代7位)という記録を持っている選手です。

講演の中で荒川さんは、「今は陸上をやっていますが、子どもの頃は、野球選手を夢みていました。沢山の挫折を経験しましたが、それが今の自分の財産になっています。どんな職業を目指すにせよ、いつも夢を持ち続けてください。」と子供たちに激励の言葉をかけられました。

子供たちへの言葉の中で、3つのことを守ってくださいと言われました。それは、①人の話を素直によく聞くこと②何が起るかわからないので、いつも準備しておくこと③どんなことでも自分に満足せず工夫をすることでした。

子供たちは、間近に見るアスリートの言葉と元気はつらつと指導に圧倒されながらも、目をまん丸くして食い入るように聞いている姿がとても印象的でした。

## 半世紀の絆を振り返り



10月18日、曾於市末吉総合センターで「合同金婚式」および「ひとり金婚者の集い」が開催され、結婚50年を迎えられた111組の金婚者と28名のひとり金婚者の方々が出席されました。

池田市長は「地域の発展のために共に頑張ってきたご夫婦のご苦労やご貢献に敬意を表し、今後ますますのご健康と長寿をお祈りします。」と述べました。

また、出席者を代表して今原紀文さんが「長いようで短い50年間でした。夫婦はもともとは他人でしたが、長い間一緒に暮らしてきて、それが親子よりも兄弟よりも身近な関係となり、その重みを改めて感じています。これからも生きがいであるグランドゴルフ等を楽しみながら、健康に留意をし、新たな歴史を築いていきたい」と謝辞を述べられました。

## 輪光無量寿園 テレビを寄贈



10月18日、末吉町岩南の特別養護老人ホーム輪光無量寿園応接室で山内義宣園長から岩南消防分団へ地デジ対応テレビの寄贈がありました。

この寄贈は、日頃から岩南分団には園の夜間消防訓練などでの的確な判断と迅速行動をして頂き、地域の安全安心にご尽力頂いていることと、運動会や夏祭りなど多方面に亘り、園や地域を盛り上げて頂いていることへの感謝の気持ちを表したものです。

岩南副分団長の重久和博さんは、「7月24日のデジタル電波への移行以来、詰所のテレビは使えない状態でした。台風や大雨など、待機せねばならない時の情報入手の手段として活用していきたいと思います。これからも地域一丸となって安心して暮らせるまちづくりのお手伝いが出来れば幸いです。」と笑顔で話されました。

## 全国地域安全運動出発式



10月8日、曾於警察署で地域・職域防犯ボランティア団体、民生委員など35団体、200名が参加し全国地域安全運動出発式が行われました。

当日は、はじめにまちづくりに寄与した3団体（あけぼの見守り110番隊：県安心安全県民会議からの団体功労表彰、やごろう母ちゃんパトロール隊：県防犯協会からの団体功労表彰、3個人（隈元道雄さん：全国防犯栄誉銅賞、前野廣志さん、吉元公一さん：県防犯功労者表彰）の表彰伝達授与がありました。

曾於警察署長から「管内では、昨年に比べ窃盗などの犯罪が増えていますが、日本一安全で安心な曾於市を目指して頑張りましょう。」と激励の挨拶がありました。

式終了後、曾於市商工会青年部で結成するレッツ防犯ソオルマンの寸劇や大隅町月野の正心保育園のエイサー踊りで出発式に花を添えてくれました。その後パトカーや青色パトロール隊が市中に出発していきました。

## 元気で、おおきくなーれ！！



11月10日（木）は末吉総合体育館において、子育て支援センター主催のミニミニ運動会が開催されました。

この運動会は、乳幼児を持つ子育て家庭の方々を対象に行われたもので、かけっこやハイハイ競争、玉入れなど楽しいプログラムが盛りだくさんで親子そろって楽しいひとときを過ごすことができました。

ハラハラ、ドキドキしながらも、わが子の成長ぶりを見つめるお母さん方の姿に親子のぬくもりを感じました。子ども達はごほうびのペンダントに大喜びでした。

かわいい子どもたちがこれからも元気ですくすくと成長してくれることを願っております。

## 楽しかったね！！ 親子ふれ愛ファミリーコンサート



10月16日（日）末吉総合センター大研修室で「親子ふれ愛ファミリーコンサート」が開催されました。

曾於市地域子育て支援センターの企画で、豊國淳子先生の指導のもとメセナ楽団のみなさんの心のこもった、心に響くすばらしい演奏を曾於市内外のたくさんの皆さんが堪能しました。

テレビ番組で話題になった「マル・マル・モリ・モリ」の曲に合わせて体を動かしたり、来場者全員で手作り楽器をならし、会場全体が一体となり、感動の輪が広がりました。

参加者は「小さい子どもを連れて音楽にふれあう機会がないため、楽しくすてきな時間を過ごさせて頂きました。本当にありがとうございました。」と感謝の言葉を述べられました。

## 平和への願いをこめて



10月25日、市戦没者追悼式が末吉総合センターで挙行されました。式には、遺族や関係者など、約500人が参列し、戦争の犠牲になられた市出身戦没者の御霊に哀悼の誠を捧げました。

池田市長は、式辞の中で「先の大戦から学びとった多くの教訓を改めて深く心に刻み、世界の恒久平和の確立と心豊かに暮らせるより良い社会の実現のため、全力を尽くしてまいります。」と述べました。

その後、来賓及び遺族代表による「追悼のことば」に続き、代表者による献花と同時に参列者一人ひとりが戦没者の冥福を祈りました。

活気と潤いのある発展を遂げたこの日本国、平和と繁栄の陰には戦争による多くの尊い犠牲があったことを後世に伝えるべきであり、戦火のない平和への誓いを新たにしました。

## 「まいう〜」連発 グルメ街道大盛り上がり！！



11月12日(土)、そお市民祭会場【栄楽公園グラウンド】にテレビでおなじみ、お笑いタレントの石塚英彦さん(愛称:石ちゃん)が訪れ会場は興奮のつぼとなりました。

石ちゃんは、曾於市のうまいものを紹介する番組の収録で訪れたもので、市民祭会場グルメ街道の他にも、財部きらら館や大隅農土家市等にも立ち寄ったそうです。

市民祭会場は、石ちゃんが歩き回る度に人だかりが移動し、石ちゃんがおもしろそうにはおぼる姿を見て、観客からは、石ちゃん定番のフレーズ「まいう〜、まいう〜」の音がとびかいました。

石塚さんは、お客さんの声掛けや握手、写真攻めにもとても快く応じてくださり、人のよさが体全体からにじみ出ているとても好感の持てる方でした。

この収録の様子は、12月24日(土)、10:00～10:30に放映されます。曾於市民の幸せそうな笑顔を随所に見られます。ぜひ楽しみにお待ち下さい。

## 池田明人さん 九州地区子ども会表彰授与



11月8日、末吉町諏訪方にお住いの池田明人さんが九州地区子ども会永年指導者表彰を受けられたことの報告に市長室を訪問されました。

池田さんは、昭和52年旧末吉町法楽寺子ども会育成会長就任を皮切りに、青少年育成指導員、曾於市子ども会育成連絡協議会副会長、図書館ボランティア「トトロ」会員、末吉中央児童クラブ運営委員など、継続34年間の永きに亘り、子ども達の健全育成に尽力された事を評価されての表彰です。

池田さんにお話を伺うと「これと言って功績を挙げたわけでもない私が、こういった評価をしていただけるのもいっしょに子供達の健全育成に携われた方々のお陰であると深く感謝致します。今後も後継者育成や体力が続く限り子ども達に関わっていきたい。」と力強く述べられました。